



みんなの力で魅力ある自治会づくり 平成24年3月

自治連だより

第43号

発行：宇都宮市自治会連合会
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
宇都宮市役所 みんなでまちづくり課内
TEL・FAX(兼用)(028)632-2289

自治会
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

(多気山の桃)

平成23年度自治会長大会を開催しました



昨年の11月20日、宇都宮市役所の大会議室を会場に自治会長大会を開催しました。

来賓として佐藤宇都宮市長と鈴木自治振興部長にご出席いただき、市長より、地域自治振興功労者表彰と自治会活動表彰の表彰状の授与がありました。地域自治振興功労者である自治会長は80名、自治会活動表彰は24の自治会が対象となりました。

受賞されました皆様、おめでとうございます。なお、受賞されました自治会長と自治会のお名前を2頁に掲載いたしましたのでご覧ください。

その後、毎日新聞社宇都宮支局長の吉川学氏をお迎えして講演会を行いました。吉川氏は2010年に支局長として宇都宮市に赴任され、この度の東日本大震災では3月・5月・8月と福島県に赴き取材をされたそうです。新聞記者でなくては見るできない被災地の様子と放射能という問題について講演（演題「東日本大震災と福島原発事故の取材—放射線管理とその影響—」）をしていただきました。

吉川氏は環境や原子力等についてこれまでに多く取材をしてきた経験と、福島県に隣接する栃木県ということから、被災地前線への取材命令が出されたそうです。

福島支局に向かうにもガソリンや食べ物の調達に苦労したこと、現地で取材する記者の安全を確保するため、個々人の積算放射線量を計測して管理していたことなどを伺いました。震災直後の福島県の様子、情報を伝えるため危険をかえりみず取材している新聞記者の苦労と職業の厳しさがわかりました。



受賞、おめでとうございます。

緑3丁目自治会長の金田貞夫さん（緑が丘地区連合自治会会長及び宇都宮市自治会連合会会計）が、自治会・町内会等の代表者として永年在職し、良好な地域社会の維持形成に貢献されたことが認められ、11月25日に総務省において『自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰』を受賞されました。（全国から選ばれたのは48人で栃木県では1人の受賞です。）

金田会長は「いま、社会が大きく変化し地域の絆が弱くなっているような気がする。このような時こそ原点に帰り、地域を見直し自治会が地域社会の中心的存在として、地域に根を張ることが求められていると思う。この度は、宇都宮市自治会連合会に結集する仲間の皆様のご支援によるもの。」と仰っていました。

今後のますますのご活躍をご期待申し上げます。



❁地域自治振興功労者表彰

この制度は、宇都宮市が永年、地域の活動促進に貢献した自治会長を表彰するもので、地区連合会長を2年以上在任し退任された連合会長及び自治会長を5年在任と11年在任した会長に贈られます。



前地区連合会長表彰を代表で受賞された大野氏

【2年以上在任し、退任した地区連合自治会長】

敬称略

山根 登 (河内)	中田 隆人 (清原)	霧蒔 邦博 (五代若松原)
菊地 國雄 (城東)	竹之内英明 (戸祭)	大野 光雄 (富屋)
故足澤 良一 (錦)	菊地 昭三 (平石)	吉田 幸雄 (細谷)
關 平 (峰)	武田 繁雄 (築瀬)	安野弥一郎 (陽光)

計12名



11年表彰を代表で受賞された鈴木会長

【11年在任した自治会長】

敬称略

鈴木 芳男 (今泉東)	石塚 秀男 (宿郷東)	近藤 保 (奈坪二区)
舟本 義雄 (岡本駅前二区)	古澤 勝司 (清原台3丁目)	横山 和夫 (桜2丁目)
小林 博彦 (西原仲町)	菊地 國雄 (宿郷5丁目東)	土田 富夫 (築瀬9丁目)
浅野友三郎 (二里山)	坂井 治夫 (今小路)	塚田 昌弘 (松原東部)
斎藤 登 (戸祭二丁目)	竹之内英明 (中戸祭二区)	堀井 毅 (和尚塚三丁目)
池嶋 邦男 (境町)	小野 栄司 (池上町)	岩淵 甫夫 (今泉町8丁目東)
糸井 明洋 (鶴田東部第4区)	中島光一郎 (鶴田三の沢東)	渡邊 秀洋 (川向5丁目)
佐藤 尚男 (築瀬10丁目)		

計22名



5年表彰を代表で受賞された宮越会長

【5年在任した自治会長】

敬称略

小野 義一 (東峰南)	福田 純子 (つくし)	安齋 光男 (東組)	田村 匡彦 (下野三楽園)
宮越 則夫 (奈坪一区)	高井 朝三 (台岡本一区)	稲葉 繁 (自由ヶ丘)	佐藤 恭雄 (みどり台)
入江 基男 (四区大堀)	池田 裕文 (野沢町)	高山 幸江 (五代二丁目)	大塚 隆久 (中河原1丁目)
今井 キヨ (材木町中央)	小笠原正謹 (桜大谷通り)	半田 精一 (西一の沢)	和田 紀夫 (昭和通り西)
高橋 勇 (築瀬5丁目東)	松本 晋 (平松西)	立野 幸夫 (寿)	和野 紀夫 (滝谷町翼)
千葉 紘一 (針ヶ谷上)	大久保恒夫 (宝木1の3)	真貝 宏 (鉄砲町)	片見 浩 (上戸祭本町)
安藤 泰次 (亀井ヶ丘)	坂本 登 (山本)	入江 操 (一一)	神山 宗浩 (鶴田町三の沢北)
安達 弘紀 (中塙田)	小島 弘義 (八幡台)	岡村 光教 (幸町)	和智 朗 (鶴田町三の沢北)
前田 義勝 (明保野町)	鈴木 恒雄 (鶴田東原南部)	阿久津勝彦 (鶴田東原北部)	萩原 良章 (陽東桜ヶ丘)
木山 八郎 (弥生1丁目卯月)	藤原 由房 (御幸ヶ原町元町)	舟本 肇 (御幸ヶ原町新町)	野中 位徳 (台新田町)
吉澤 輝順 (川向4丁目)	荒川 博史 (小袋町)	小栗 秀夫 (緑4丁目)	
宇賀神一雄 (八千代1丁目)	中島 忠男 (宮本2)	安野 豊 (陽南中部)	
高塩 忠成 (下栗ヶ丘)			

計46名

❁自治会活動表彰

この制度は、他の模範となり、日頃から地道な活動を継続的に実施している自治会に対し、宇都宮市が表彰するものです。

岡台一区 清原台2丁目 徳次郎下町 東組東 双葉2丁目	稚ヶ坂第二 西原仲町 あさひ台 上戸祭本町 江曾島4丁目	釜井台一区 中篠井 三条町南部 若草三丁目 江曾島5丁目	釜井台二区 西塙田本通り 東塙田七区 若草四丁目 さくら台	釜井台三区 茂原東 大曾西町 若草五丁目
---	--	--	---	-------------------------------

計24自治会



自治会活動表彰を代表で受賞された中篠井 手塚会長

栃木県自治会連合会 会長研修大会に参加しました。



1月27日、県自連加盟22市町の自治会長が集う、平成23年度会長研修大会が小山市文化センターにて開催されました。

永年地域活動に功労された自治会長に県知事・県自連会長から表彰状が贈られ、その後、「市民防災ラボ」代表 玉木 貴氏の講演会(演題:『助かる命を守る共助～地域防災ははじめの一步』)が行われました。

宇都宮市関係では、30名の会長が表彰されましたのでご紹介します。今後とも更なるご活躍とご健闘をご期待申し上げます。

【県知事表彰】 (自治会長在任20年以上)

敬称略

小林 久夫 (花房本町) 田村 博 (エビス西) 佐々木英明 (松ヶ丘) 岩戸 肇 (みどり野) 計4名

【県自連会長表彰】 (自治会長在任10年以上)

敬称略

笠原 政雄 (朝日ヶ丘)	絵面 崇男 (サマーランド)	岩戸 肇 (みどり野)	荒井 雅 (大寛1丁目)
十河 敏之 (西川田町東武下原)	小林 忠司 (元石町)	本多 敏男 (和尚塚二丁目)	金田 亨 (長岡町緑ヶ丘)
嶋津 良介 (ローズタウン)	鹿山 光夫 (小幡東部)	平田 利夫 (小幡西部)	橋詰 登 (今泉2丁目)
藤田 昌弘 (南新町上組)	佐々木三郎 (戸祭第3グリーンヒル)	加藤 進 (瑞穂2丁目)	笹野 歳雄 (瑞穂野工業団地)
山本 正人 (東浦町)	河内 洪 (双葉2丁目)	稲葉 努 (江曾島1丁目)	坂本 節子 (不動前住宅)
富澤 勝 (御幸町南)	手塚 栄作 (御幸ヶ原町北)	大谷 操 (東峰中三)	中川 雅雄 (大和2丁目)
森山 和則 (横田新町)	田村 英二 (平松本町第一)		

計26名

頑張っています!

自治会活動

— ふれ愛のまちを目指して — さつき自治会 会長 小島 英男

障がいを持った人や高齢者が地域の中で生き生きと過ごせ、住民が自主的に助け合う環境と組織づくりを目指し、平成10年に福祉部を設立しました。さらに、20年には災害時支援検討委員会を立ち上げ、災害の発生時に支援が必要な会員の実態調査を実施し、地域包括支援センター・自治会員・各機関の協力を得て、毎月一度の声かけ訪問と連絡網による対応などのさつき見守り活動が23年から動き出しました。

自治会としては、会員間のふれ愛促進を目的として趣味の同好会の結成を支援しました。現在では16の同好会が結成され、文化祭・福祉施設見学会・レクリエーション大会の開催など、活発に活動しています。

さつき自治会は、43都道府県の出身者で成り立っていますが、その住民がお互いのふれ愛を深めるためにと、23年3月にバリアフリーの自治会館を新築しました。住民誰もが住んでよかった、安心して暮らせるふれ愛を大切に、充実した活動を展開していきたいと考えています。



小島会長



— 絆を大切に自治会活動 — 中篠井自治会 会長 手塚 富榮



地域住民が協力しあう中篠井自治会は、絆を深めるため様々な活動をしています。健康増進を目的に開催する班対抗で行う班別バレーボール大会は、今年度32回目の開催となり、絆づくりの役割も担っています。班員が一致協力して優勝トロフィーを目指しての珍プレーの続出、班毎の昼食会からは笑顔と笑いが響き、より一層の絆を深めあい、心とむ充実した一日となります。

また、花いっぱい運動として育成会による公民館前の花壇の管理と老人会によって植えられた自治会内を横断する県道に沿って咲く花は、自治会だけではなく県道を利用する人々にも美観と安らぎを与えています。この取り組みは魅力ある自治会づくりと地域の防犯にもつながっています。

今後も先輩方が残してくれた伝統を継承し、若い世代の知恵を取り入れながら事業を行い、地域の絆を大切にしていきたいと思っております。



手塚会長

— 子ども達に思い出をプレゼント — 大曾三区自治会 会長 永井 久司

独自の伝統祭りのない当自治会では、特に将来の地域を担う子ども達の思い出づくりとして、田川河川敷公園で、昔から伝えられてきた「ミニ鯉のぼり祭」「七夕祭」「餅つき会」等を自治会総出で実施し、家庭や学校では出来ない地域での子ども達の育成に力を入れています。

「ミニ鯉のぼり祭」は、寄附してもらった大きい鯉のぼりを中心に、川沿いのフェンスに物干し竿を間隔を置いてたくさん縛り、2段のロープを結びつけて、そこに名前と希望・祈りを書いた90cmのミニ鯉のぼりをぶら下げ、現在は5月いっぱい、約200の鯉のぼりが子ども達の健やかな成長を願いながら、青空に整列して泳いでいます。

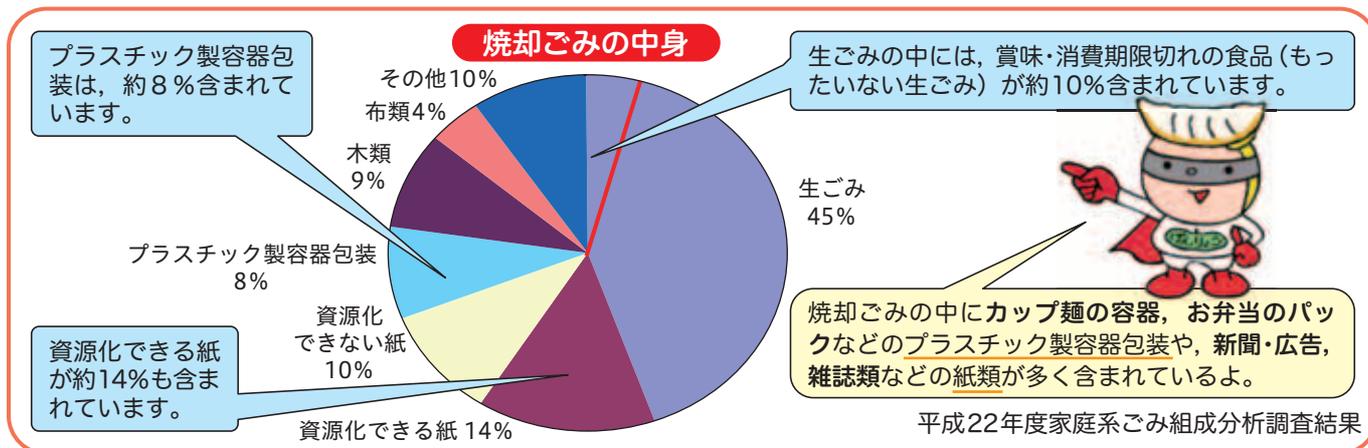
当自治会は、約430世帯からなり、7つの専門部を設けて50名の役員が自治会内の環境整備、福祉、ごみ対策、防犯、防災などの諸事業に取り組んでいます。

東日本大震災を契機に、更に強い「絆」を作りあげるべきことを念頭に、益々地域内の交流を深めるよう取り組んでいく所存です。



焼却ごみ量が増えています!! -資源物を焼却ごみへ出していないか?-

宇都宮市では、昨年4月以降焼却ごみが増えています。
 分別の徹底を図り焼却ごみの減量と資源物のリサイクルにご協力をお願いします。



もったいない!資源物を焼却ごみへ捨てないで

資源物

出し方
 汚れを取り除き、全部まとめて透明か半透明のポリ袋に入れてください。

出し方
 ポリ袋や紙袋を使わずに、ひもで十字に縛ってください。

出し方
 クリップなどの異物を取り除き、紙袋に入れてひもで十字に縛ってください。
 ※紙袋がなければ透明か半透明のポリ袋に入れてください。

ごみの分別講習会を開催してみませんか。(申込みは電話や窓口で)

ごみ分別の疑問や資源物などの分け方・出し方について、ごみ減量課職員が分かり易くお話しします。
 ※(申込み時に講習会の内容や開催の日時・会場・人数・連絡先などを確認させていただきます。)

宇都宮市環境部ごみ減量課 ☎(632) 2414 E-mail: u0716@city.utsunomiya.tochigi.jp

自治会活動の参考にいかがですか!



本紙の2頁で紹介しました自治会活動表彰を受賞した自治会の活動内容をまとめた事例集が、市のホームページで見ることができます。「魅力いっぱい自治会活動事例集」のタイトルどおり、魅力ある活動がたくさんあります。

自治会活動の参考になりますのでぜひ、ご覧になってはいかがでしょうか。

※宇都宮市トップページ>市民協働・コミュニティ>自治会>平成23年度「魅力いっぱい自治会活動事例集」

編集後記

東日本大震災が起きた3月11日から1年を迎えました。当日の揺れやテレビでの映像・新聞記事がまだはつきりと脳裏に残り、時折思い出されます。

被災された方が災害を受けて地域に助けられた、地域の絆が深まったという話を耳にします。困難の壁にぶつかった時は、身近な人の存在に助けられ、どれほどありがたいかを感じるもので、自治会の大切さを再認識しました。

11月の講演会で毎日新聞の吉川さんが福島原発について触れ、今後の除染や原発に代わるエネルギーについて考えていなくてはならないと言っていました。1年が過ぎても、まだまだ私達には越えなくてはならない問題が数多く有ります。

厳しい寒さの冬をじっと堪え、暖かな春を迎えることと同じ様に、今は助け合い、災害に強い日本に変化した未来を子ども達に残したいものです。